

木更津駐屯地
陸自オスプレイ

「暫定」配備おことわり！

オール千葉 昼休み宣伝

安保法廃止！立憲主義・民主主義をとりもどすオール千葉県の会は4日、千葉県庁前で昼休み宣伝にとりくみました。



日本共産党、平和の党、市民ネットの県議も参加し、連帯のあいさつを行いました。



左から、浅野ふみ子党県副委員長、加藤英雄県議団長、みわ由美県議（あいさつ）

防衛省の回答をうけ、県に申し入れました

日本共産党県議団

陸自オスプレイの木更津駐屯地への「暫定」配備計画について、北関東防衛局が千葉県と木更津市の質問に対して文書回答したことをうけ、日本共産党千葉県議団は11月26日、千葉県に申し入れました。

申し入れ書は、①「暫定」の期限すら明確にできず「恒久配備」と同じ。②「国防」を理由に木更津が配備先となった理由を明らかにできないのは、露骨な軍事優先の姿勢。③年間4500回程度の離着陸増や低空訓練で事故の危険や騒音被害が広範囲にのぼる。④オスプレイの危険性の4点にわたり、同回答の問題を指摘し、木更津市以外での住民説明会の開催と、木更津駐屯地への「暫定」配備計画の白紙撤回を国に要求するよう求めました。

加藤英雄県議団長は、県の受け止めと対応について質問。応対した総合企画部政策企画課の木村文和政策室長は、国の回答内容では期限を切った「暫定」配備とはならない考えを明らかにしました。その上で、対応については「木更津市と市議会の判断を注視し、検討」と述べるにとどまり、県としての賛否の明言は避けました。

みわ由美県議が木更津市以外でも説明会を行うよう迫りました。木村室長は、影響は千葉県広域にわたることから、各自治体から要望があれば説明会も含め対応を検討すると答えました。

*「申し入れ」の全文は、県議団ホームページ（www.jcp-chibakengikai.jp）の提案・政策・見解をご覧ください。

台風
15号

森田知事の初動 県民の大きな怒りをかい 「おわび」と「給料・期末手当減額」を表明

台風15号が県内に甚大な被害をもたらしていた時に、県災害対策本部の設置が遅れ、知事は県庁を離れ、芝山町の「自宅」に行き、「私的視察」をしていたことに、県民の大きな怒りをよんでいます。

知事は12月3日、謝罪と給料減額を表明しましたが、これで責任をとったとは言えません。

日本共産党は、この問題が明らかになった直後、知事に緊急申し入れし、県民が納得できる説明責任を果たし、信頼回復と復旧・復興に全力をあげるよう求めました。